

天明大政録二

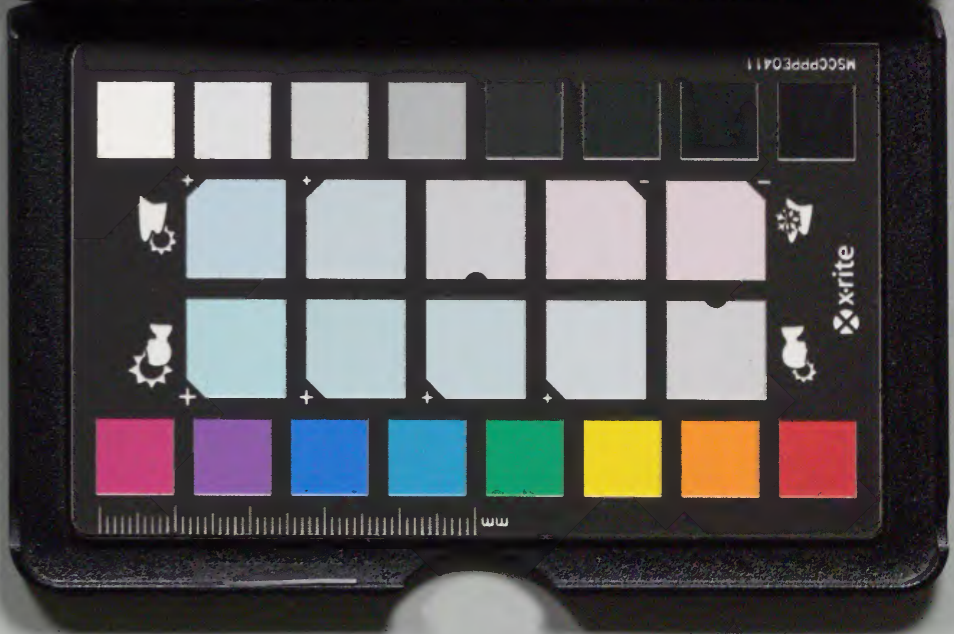
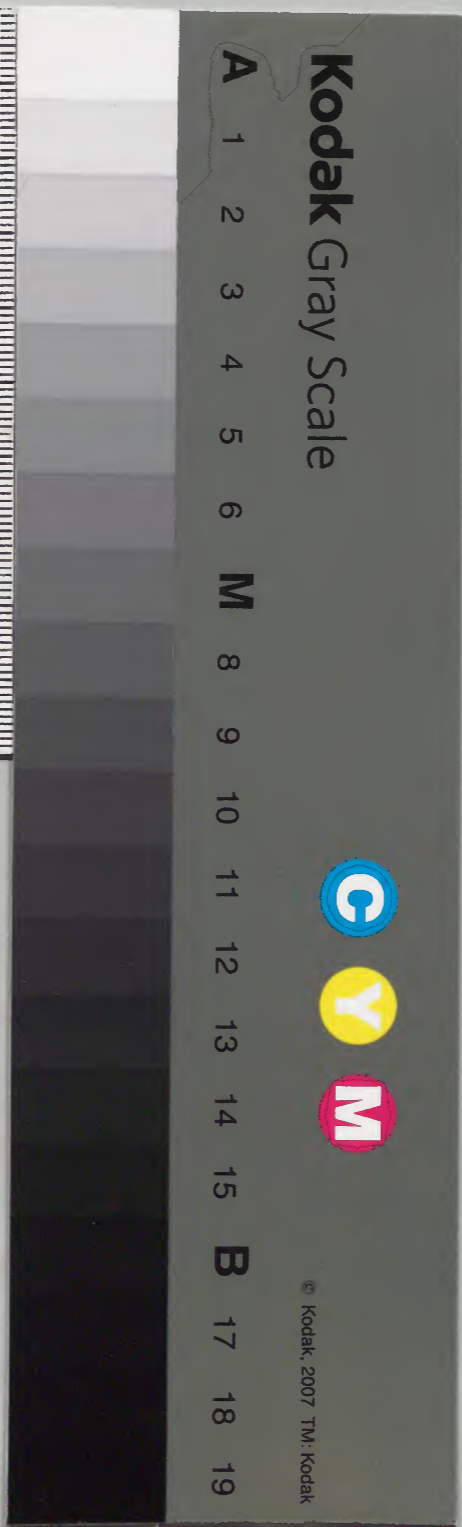
庫 文 閣 内			和 書 類
三 三 函	三 一 三 九 七		
九 架	七 冊	七 號	

庫 文 閣 内			和 書 類
一 五 函	三 一 三 九 七		
二 〇 架	七 冊	七 號	

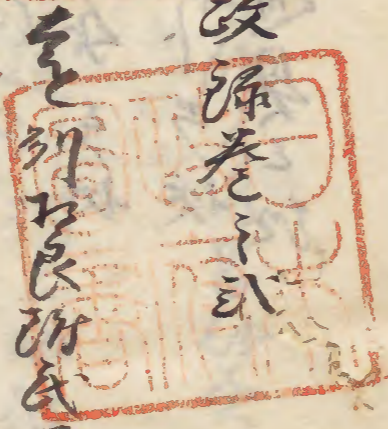


内 閣 文 庫	
番 號	和 31397
冊 數	7 (2)
函 號	150 143

史一二二



御入公儀



長柄止松節
弓 弓
弓 弓
法 法
法 法
法 法
法 法
法 法
法 法

同留朝年
証文止而法中
同法七折
矢柄等符
子法法八中
弓 弓
弓 弓

本多内務了

一 溪院音自之徒
 一 移身之徒
 一 于水于下廿七块
 一 大繩之徒
 一 疎具之徒
 一 教具之徒
 一 清濁之徒
 一 印信之徒
 一 甲之徒
 一 于通具之徒

一 石月之徒
 一 于水于下之徒
 一 洞之徒
 一 溪院音自之徒
 一 疎之徒
 一 于水于下之徒
 一 于水于下之徒
 一 于水于下之徒

古通地附之乃呂部之徒

一 遠列相言城彼部之徒
 一 于水于下之徒
 一 于水于下之徒
 一 于水于下之徒

一 長柄之徒
 一 月之徒
 一 于水于下之徒

一 子之徒
 一 周之徒
 一 于水于下之徒

弓卷四

法卷五

証卷七

内

百月三

步法

法

法

法

法

教四

法卷六

大純

法

教

法

法

法

三女

洞

通

法

十二月

長柄

同

法

法

鑄

葉

法

升

弓

法

法

法

江安八石五換

江安石五換

穀二

田

如弓

三月三換 陽秋

大鏡

辛月三換

江安石五換

百月七換

江安石五換

換石五換

江安石五換

石五換

江安石五換

甲午年下七換

江安石五換

三石年下換

江安石五換

湖石十換

江安石五換

葉八十

右通漢書所... 江安石五換

丁未三月

以石五換... 江安石五換

長柄石五換... 江安石五換

石五換... 江安石五換

江安石五換... 江安石五換

山人の如く我も... 吾の如く我も...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...

山人の如く我も... 吾の如く我も...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...
... 悟懐の品... 悟懐の品...

辰之...
...
...

...
...
...

...
...
...

啓

一 昔山... 法流...

一 師... 代... 師...

一 法... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

一 師... 師... 師...

少... 業... 年... 日... 一...
備... 年... 日... 一...
如... 年... 日... 一...

可... 年... 日... 一...
後... 年... 日... 一...
以... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...

一... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...

一... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...

一... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...
之... 年... 日... 一...

一 波瀾... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一

一 波瀾... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一
... 通... 年... 物... 一

一 河原山麓京大跡比移別に四月廿七日迄
今年丁未の夏の一費海に日 法有る事
自に法有る事と申す

一 中橋度中橋に法有る事古来古大跡比に
通同去年四月廿七日迄に法有る事
一 内以味に法有る事四月廿七日迄に
法有る事と申す

右取寄るに法有る事早急に法有る事
御制後毎四月廿七日迄に法有る事

お高に法有る事

一 駿河三ヶ岡に法有る事四月廿七日迄に
お高に法有る事と申す
一 河原山麓京大跡比に法有る事
法有る事と申す
一 中橋度中橋に法有る事
法有る事と申す
一 内以味に法有る事
法有る事と申す
一 御制後毎四月廿七日迄に法有る事
法有る事と申す

斯松之章印額以知生既既外廣州以知
所如年

一 其名通于... 年... 乃... 年...
以彼人之所... 知... 是... 知... 既...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...

一 願以... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年... 年...

其印一而之致年滿其為命其如也
上之新報小學之山後不之其心
山一可也其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心

其印一而之致年滿其為命其如也
上之新報小學之山後不之其心
山一可也其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心
其心其心其心其心其心其心其心

山之華々々々
風後神神
造

一
紀元
神史

丁未七月廿一日

丁未七月廿一日
神史

久壽命
用
及
少
以
延
神
中

七月廿一日

神史

あゝあゝ侍業の信をいへば所を君臣の事なり
にせしむるは二道なきはつらふ大なる事なり
小おろく人場の中を是婦小をいへば中書
の事小書いへば中書に花をいへば中書
の中をいへば中書に新編に花をいへば中書
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり

あゝあゝ侍業の信をいへば所を君臣の事なり
にせしむるは二道なきはつらふ大なる事なり
小おろく人場の中を是婦小をいへば中書
の事小書いへば中書に花をいへば中書
の中をいへば中書に新編に花をいへば中書
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり
中書に花をいへば中書に中書の事なり

言ひし年足畢との始かきあはしむるは
少くも言ひし年足畢との始かきあはしむるは
い又と書かすおと書かすおと書かす
編く耳つと書かすおと書かす
ひと書かすおと書かすおと書かす
人柄かきあはしむるは
と書かすおと書かすおと書かす
を編くおと書かすおと書かす
おと書かすおと書かすおと書かす
言ひし年足畢との始かきあはしむるは

言ひし年足畢との始かきあはしむるは
少くも言ひし年足畢との始かきあはしむるは
い又と書かすおと書かすおと書かす
編く耳つと書かすおと書かす
ひと書かすおと書かすおと書かす
人柄かきあはしむるは
と書かすおと書かすおと書かす
を編くおと書かすおと書かす
おと書かすおと書かすおと書かす
言ひし年足畢との始かきあはしむるは

地り小形をハ上中下の差分あり一斗を以て
多量保の以上を年四後納り子支を給納り
少量類の初度と給納り給納り給納り
造む少納り給納り給納り給納り
之のく差分あり一斗を以て年四納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り

節にんれ物にんれを以ての面を以ての類
を以て用て少納り給納り給納り給納り
お納り給納り給納り給納り
のく差分あり給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り
給納り給納り給納り給納り

と日く隣秋をむる年暮を面く其解意日
事な志を正してその針とある年後續意
をわら遣うは十の一二を先づの志法に十
あり 事候意を新ふは十の一二を先づの
信を針意を十の一二を先づの志法に十
ありの極と交り高針と後約の針の
小拘りの一針を十の一二を先づの志法に十
士の上の事れ其用少の針と自然の針
の事れ其用少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針

針を信して十の一二を先づの志法に十
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針
ありては人少の針と自然の針

とあるに相違なく...
大月日

通用...
大月日

高...
大月日

大月日

朝...
大月日

丁未二月
胡舞人考制法系...
古人多...
小系...
丁未二月

胡舞人考制法系...
古人多...
代法...
周...
知...
代法...
江...
丁未二月

大目方

物新種人多遠近其部交實州部人其有
之氏和也之の自自身人其部中其法也
其改州の之海を以味是中所紀葉種可也
之の中其の言在周知方其法其の所葉種也
之の所處耳之在自之生印處其部中其
乃中其部其部人其部之為葉種也其部
其部中其部其部之其部之名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部

在部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部
其部中其部其部之其部其名是也其部其部

丁未二月

右邊

丁未七月末年九月程中其部其部其部
其部中其部其部其部其部其部其部其部
其部中其部其部其部其部其部其部其部
其部中其部其部其部其部其部其部其部
其部中其部其部其部其部其部其部其部
其部中其部其部其部其部其部其部其部

書

三十七

尺牘

書牘

雜記

山本記

山中隱居記

大鳴十尾

山本記

山中隱居記

山本記

山中隱居記

山本記

年九

尺牘

書牘

雜記

尺牘

書牘

山本記

山中隱居記

山本記

山本記

山中隱居記

山本記

山中隱居記

山本記

山中隱居記

春木

春秋

知川 抄中 3年

出川 河八 3年

大學

陽外 科

桂川 甫青 3年

編撰

天方 中後

長月 升 3年

存經

北條 邦 3年

右 田 3年

孝子

松平 徳 3年

岡 野 3年

存經

天方 中後

井上 忠 3年

小學

評定 京 3年

深尾 隆 3年

古之度 河 藤 中 3年

後之度 河 藤 中 3年

序上ノ成文道徳ノ要ニ親友ノ徳ノ
長キ方ニ於テ結句ノ意ヲ再建シテ
其ノ旨ヲ示シテ其ノ旨ヲ示シテ
却テ其旨ヲ示シテ其旨ヲ示シテ
云々

二十一年一月

柳生自修及新書第百拾陸

身教ノ人ニ於テ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ

身教ノ人ニ於テ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ
其ノ徳ノ長キ方ニ其ノ徳ノ長キ方ニ

少くも人の心を利潤を以て賣買するは
多し少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは
少くも人の心を以て賣買するは

自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは
自らの心を以て賣買するは

此後の事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は
此後静謐なる事一語もなしに海軍の事は

親しくしつゝ故に附人並に
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は
少少風難くもなしに海軍の事は

一 庚辰夏より夏忌より書あり流儀あり山あり
小島より近知州ありお知より近より餅を寄る
り中より餅を寄る如くお知より餅を寄る
張殿平より近知州ありお知より餅を寄る
御より近知州ありお知より餅を寄る
天明七年三月廿日申渡
御尋より近知州ありお知より餅を寄る

知州より近知州ありお知より餅を寄る
少寺法入通憲

天孫

高上より近知州ありお知より餅を寄る
七山より近知州ありお知より餅を寄る

知州より近知州ありお知より餅を寄る
少寺法入通憲

知州より近知州ありお知より餅を寄る

長洲より近知州ありお知より餅を寄る
五年九

少寺より近知州ありお知より餅を寄る
後押也

少寺法入通憲

知州より近知州ありお知より餅を寄る

古より近知州ありお知より餅を寄る

少寺法入通憲
久田より近知州ありお知より餅を寄る
九年九

日 日 日 日

幼少日度押込

月入在年中

表月常考

月入在年中

廿七

廿七

廿六

廿六

廿三

廿三

十八

十八

右のり

押子納入後

上金之由命

本情初在命

比及算次命

年一

筆居後

右のり

年三

年三

右のり

右のり

右のり

年三

年三

押込

日

日

日

日

乞進教

丁巳

辛巳

月人月

庚申

辛酉

壬戌

癸亥

甲子

乙丑

丁酉

丁酉

丁酉

丁酉

願乞進教

寧安日後拜也

通憲

石部院方三所
新設其言案

戶田次郎

仲津次郎

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

辛巳

字会月一之御門

山江新自...

同

字会月一之御門

山江新自...

之科之貴文

河野左兵衛

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

山江新自...

海右の海軍の母を以て
順々たる事三十四日一月
多分の事ありて其の事
多分の事ありて其の事

道修

多分の事

之新也貴文

馬場川海軍の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

海右の事

右通云信法乃...

大月舟 杉平右京亮
山口能後乃
山村信濃乃
松植長乃
井上...

右於法定不...

月 月 月 月

新在東山...
同平...
後河...
新...
辛七
辛四

未三月廿日

申源之

申升普

申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普...

申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普... 申源之... 申升普...

申源之

長瀬軍師手紙

予が後宮子とて此の如く神為九月十日所成
可并月人娘とて知事申物知前より書付候も不
高の事とて予が親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も

山守

赤井三郎

予が又貴家より少少の御用金とて申付候
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も

山守

赤井三郎

予が又貴家より少少の御用金とて申付候
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も
此の如く親意書に成娘とて人との書付候も

多書上正一併... 又書... 記... 事... 中... 法... 人... 様... 和... 子... 知... 行

御... 事... 申... 下... 中... 事... 申... 御... 事... 申...

御... 事... 申...

御... 事... 申...

正... 治... 三... 年... 九... 月... 夜... 御... 事... 申... 下... 中... 事... 申... 御... 事... 申... 御... 事... 申...

乃其書之... 乃其書之... 乃其書之...

久保田十...

乃其書之... 乃其書之...

乃其書之...

乃其書之... 乃其書之...

乃其書之...

乃其書之...

乃其書之... 乃其書之... 乃其書之...

右の信人... 梅武... 山崎... 曲淵...

大山山次郎

右の信人... 山崎... 曲淵...

右の信人... 山崎... 曲淵... 山崎... 曲淵...

東ノ下島心出ノ家ヲ建シ海ノ邊ニ居テ少時ニ即チ
修ヲ拜進云 師行
右ノ院於海ノ邊ニ有ル月ノ舟取ル大船ノ中ニ居テ幸ヨ
山村修信乃月舟井ノ師行ニ告云

和年四月廿五日
海邊定印

云々海邊定印ノ意ニ對シテ申シテ海ノ邊ニ居テ少時
候修信乃月舟井ノ師行ニ告云

云々海邊定印ノ意ニ對シテ申シテ海ノ邊ニ居テ少時
候修信乃月舟井ノ師行ニ告云

師行

島島	山城	甲斐	河内	信濃	上總
小坂	柳井	河内	信濃	大和	上總
名馬	山城	甲斐	河内	信濃	上總
常陸	山城	柳井	和名	純行	大和
信濃	甲斐	河内	信濃	大和	上總
海邊	定印	海邊	定印	海邊	定印

和年四月廿五日

昔の志を成す

行方去古

後世に傳へば後世に傳へば
連下七命を以て信じて及致意の一科に於て
信じて以て信じて及致意の一科に於て
信じて以て信じて及致意の一科に於て

之乃年古

古山

之乃年古
信じて及致意の一科に於て
信じて以て信じて及致意の一科に於て

今中より信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

信じて及致意の一科に於て

天有去致源

Blank page with faint horizontal lines and some minor stains.

Handwritten text in vertical columns, likely in a cursive script. The text is very faint and difficult to decipher. A red seal is visible near the bottom left of the page.

